2011年12月14日/朝日新聞

西宮市職員流用か

車両修理費　備品購入の疑い

　西宮市の車両を管理する管財課車両管理チームの職員が、車両修理費を流用してパソコンやデジカメなど備品9点を勝手に購入していた疑いがあることがわかった。13日の市議会本会議で、澁谷祐介市議の質問に市が答えた。

　管財課によると、同市西宮浜3丁目にある車両管理チームの事務所内に、購入した記録のないパソコンとデジタルカメラ各1台、プリンター2台など計9点があった。

　澁谷市議は市が所有する車両約100台の過去3年間の修理履歴を調査。その結果、バッテリーを約3か月で交換したり、マフラーを約1年間に2度修理したりと、通常より短い期間で修理を繰り返していた記録があった。

　市管財課の担当者は取材に「職員が業者に車の修理を頼んだことにして、　その費用で業者から備品を購入した疑いがある」と説明。市は今後、職員から聞き取り、備品をどうやって購入したかを調べる。

　澁谷市議は「公費を私的に使った恐れがある。全部署を対象に備品のチェックをするべきだ」と話している。

（五十嵐聖十郎）

2011年12月12日/読売新聞

西宮市　公用車修理費を不正流用

管財課職員、備品購入に

　西宮市の管財課の男性職員が、公用車の修理発注を装ってパソコンやデジタルカメラなど計9台を購入していたことがわかった。男性職員は「正規に申請すると財政課との折衝が必要で、煩わしかった」と予算の不正流用を認めている。

　市によると、男性職員は同課の車両管理チームに所属。市に寄せられた情報をもとに調べたところ、男性の職場に管理台帳にない備品9点（各5万～3万円前後）があったという。

　これらの備品は本来、前年度の予算要求に盛り込む「備品購入費」として申請しなければならないが、男性職員は「（車両の）一般修理」の名目で購入していた。

　車両の運行や事故の際の記録に使っていたというが、市は組織ぐるみで流用を続けていた可能性があるとみて、さらに調べる。

2011年12月14日/毎日新聞

西宮市　職員が不正に備品購入

公用車修理費装い費用捻出

　西宮市管財課の男性職員が公用車の修理を装って公費で費用を捻出し、デジタルカメラやプリンター、パソコンなどの備品計9点を購入していたことが、市への取材でわかった。備品はすべて管財課の業務で使用しており、男性職員は「あったほうが便利だと思い、財政課に必要性を伝えたが、理解してもらえなかった」と釈明しているという。市は公費の不正使用と判断し、調査を進めている。

　男性職員は、公用車の管理や整備に関わる業務を担当。主任だった07～08年ごろ、車両修理代の名目で車の整備会社に備品の購入を依頼し、請求書の名目を「車両修理代」としてもらって公費で購入していたという。

　デジタルカメラなどの備品は1点が3～5万円ほどで、調査を行っている市人事課は「備品番号のないものが存在している。購入の経緯を調べる」と話している。

（大沢瑞季）

2011年12月14日/産経新聞

車両修理代と偽り職員　公金不正支出　西宮

　西宮市で公用車の整備などを担当する職員が、車両修理代と偽ってデジタルカメラやカーナビなど9点を購入していたことが13日、分かった。購入は数年前に行われたとみられ、すべて職場で使われていたという。市は複数の職員がかかわった可能性もあるとみて詳しく調査している。

　市によると、不正に購入されたとみられるのは、デジタルカメラ、カーナビ、プリンターとスキャナーの複合機、小型パソコンなど計9点。車両の修理発注先の車両整備業者にこうした物品の購入を依頼、車両修理代として公金を支出していたという。

　市は「私物化したのではないとしても、本来修繕に使う公金を違う名目に使ったことは不適切」としており、事実関係を調べたうえで必要な措置を行う方針。